

2012年度 前期			リフレクションペーパー				
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	都市と環境						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期		
必修・選択の別	選択科目(建築工学コース)／選択科目(建築コース)／選択科目(デザインコース)						
担当者	依田 浩敏						
授業の到達目標 (シラバスから)	・都市環境、地域環境とはどういうことかを理解し、説明できる。(B5,C3) ・現在の都市(地球)環境問題を理解し、説明できる。(B5,C3) ・環境問題に対して、建築技術者として如何に取り組むべきか思考し、問題解決策が提案できる。(C3) ・都市と環境関連の事項について文献調査を行うことにより、自己学習能力を形成することができる。(C3)						
日程と内容	4/11 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法。都市環境とは（都市化の進展、自然の喪失） 4/18 環境政策（海外・国内の環境政策、環境経済） 4/25 環境基本計画（環境基本計画、事例） 5/2 都市熱環境その1（ヒートアイランド、現状と対策） 5/9 都市熱環境その2（クリマアトラス） 5/16 エネルギー1（エネルギー需給の現状） 5/23 エネルギー2（再生可能エネルギー） 5/30 エネルギー3（省エネルギー技術） 6/6 ウォータフロント（臨海部の開発と環境、河川環境） 6/13 エコロジー建築（環境共生住宅） 6/20 都市緑化 6/27 環境評価（環境アセスメント、CASBEE） 7/4 廃棄物（建設リサイクル法、災害廃棄物） 7/11 依田研究室で実施している教育・研究 7/18 定期試験（60分） 7/25 レポート課題(1. 節電・エネルギー, 2. 災害廃棄物, 3. 放射能, 4. まちづくり, 5. 東北地方, 6. その他)						
成績評価基準	定期試験	60%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	40%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	0%	計	100%			
授業到達目標の達成度	・都市環境、地域環境とはどういうことかを理解し、説明できる。：達成した ・現在の都市(地球)環境問題を理解し、説明できる。：達成した ・環境問題に対して、建築技術者として如何に取り組むべきか思考し、問題解決策が提案できる。：達成した ・都市と環境関連の事項について文献調査を行うことにより、自己学習能力を形成することができる。：達成した						
反省点	この授業の特徴は、資料を提示しながらの講義であるが、教員側からの一方的な講義にならざるを得なかった。今後は学生との対話を取り入れた講義を検討する。 社会情勢を踏まえた、エネルギー問題、災害廃棄物の問題については学生の興味が高かった。						
来年度の計画	資料の配付枚数、内容について検討する。						
授業評価アンケートに対するコメント	毎回、課題を与え、講義はパワーポイントを使用した。高度で広範な内容にもかかわらず、総合点は8.3点と全科目の平均より高かった。予想より受講生が少なく、教室が狭いこと、教室が広すぎた。 講義用の配布プリントを、UNIVERSAL PASSPORTより学生個人がダウンロードできるようにした。枚数が多いため限定した資料としたが全てを配付してほしいとのコメントがあった。検討を要する。						
履修登録者数	34 名	定期試験 受験者数	32 名	合格者数	32 名	合格率	100%